

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者給食サービス事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	意図	高齢者が給食サービスを利用することにより自立した生活を継続することができる。
事業内容	日常的に食の調達が困難であると認められることや認知機能の低下により食の管理が困難であると認められる一人暮らし等の高齢者に対し週3回、3食を限度に昼食または夕食を届ける。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度及び平成27年度に高齢者給食サービス事業の実施に係る規則を、より対象者のニーズに合うよう見直し、平成28年度、29年度の受託事業者選定を行い改良を目指して実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	配食数	8,999	7,982	7,537	食	→→
②	配食利用者数	864	775	708	人	→→	毎月の利用者数の累計
③	アセスメント実施件数	104	75	75	件	→→	年間のアセスメント実施件数
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	10,764,975	10,065,090	9,412,488
事業費(b)(円)	8,000,975	7,053,090	6,666,488
うち一般財源			
職員給与と費(c)(円)	2,764,000	3,012,000	2,746,000
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.40
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

食の調達や認知機能の低下により食の管理が困難な高齢者を対象として給食サービスを実施した。食の支援は、本事業以外にも介護保険内外に多様なサービスがあり、利用者はその他のサービスを併用しながら、自立した生活を継続している。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	適切なメニューを配食できるようアセスメントを実施していく。	③取組の課題	療養食等のメニューの他、食形態についてもやわらか食等選択できるようになったことを知らない利用者がいたため、アセスメントや事業案内により利用者に情報提供していく必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	サービス利用の適正化のため、アセスメントを実施する各地域包括支援センターへ適宜指導を行った。	④今後の改善計画	給食サービスについて利用者が適切なメニューを選択できるよう、事業案内及びアセスメントを実施していく。